

私たちの

道徳

小学校

活用のための指導資料

文部科学省

私たちの

道徳

小学校

活用のための指導資料

文部科学省

私たちの

道徳

小学校

活用のための指導資料



文部科学省

まえがき

文部科学省では、平成二十六年度から、道徳教育用教材「私たちの道徳」を全国の小・中学生に配布しています。

「私たちの道徳」は、道徳の時間はもちろん、学校の教育活動全体を通じて、また、家庭や地域においても活用されることを念頭に作成したものであり、児童生徒が道徳的価値について自ら考え、行動できるようになることをねらいとした教材です。

「私たちの道徳」については、学校等で活用いただく中で、具体的な活用方法に関する情報提供等を求める声もいただいております、このことも踏まえ、このたび、「私たちの道徳」の趣旨の理解を図り、より効果的に活用いただくための手引きとして、「『私たちの道徳』活用のための指導資料」を作成しました。本書には、道徳の時間をはじめとする学校の教育活動において、また、学校と家庭や地域が連携して、「私たちの道徳」を活用いただくに当たっての解説や事例などを掲載しています。

道徳教育については、平成二十六年十月二十一日に中央教育審議会から「道徳に係る教育課程の改善等について」の答申がなされたところであり、その中では、教師が一方的に教え込むのではなく、児童生徒が互いの意見を交流させる言語活動や表現活動等の多様な指導方法を通じて、一人一人に考えさせる授業を重視することなどが提言されています。

各学校においては、この答申や今後の制度改正等の動向も見据えながら、本書も参考にしつつ「私たちの道徳」を効果的に活用することなどを通じて、道徳教育の一層の充実を図っていただきますようお願いいたします。最後に、本書の作成に当たって多大な御尽力をいただきました作成協力委員をはじめ関係各位に対しまして、心から感謝の意を表します。

平成二十六年十一月

文部科学省初等中等教育局長

小松親次郎

「私たちの道徳」小学校 活用のための指導資料

目次

■「私たちの道徳」の概要	4
第一章「私たちの道徳」の活用にあたって	6
1 「私たちの道徳」について	6
2 「私たちの道徳」の活用	9
3 「私たちの道徳」の活用を促す「道徳教育の全体計画」	20
4 「私たちの道徳」の活用を促す「道徳の時間の年間指導計画」	26
■「私たちの道徳」の内容の構成	30
第二章「私たちの道徳」の活用事例	32
【一・二年】	32
1-1 「きそく正しく気持ちのよい毎日を」	32
読み物資料 るっぺどうしたの	34
重点 生活をふりかえってみよう	35
1-2 自分でやることはしっかりと	36
読み物資料 小さなど力のつみかさね	38
1-3 よいと思うことはすすんで	40
読み物資料 ぼんたとかんた	42
重点 してはならないことがあるよ	43
1-4 すなおにのびのびと	44
読み物資料 お月さまとコロ	46
2-1 気持ちのよいふるまいを	48
読み物資料 たびに出て	50
重点 せかいの「こんにちは」「ありがとう」	51
2-2 あたたかい心で親切に	52
読み物資料 はしの上のおおかみ	54
2-3 ともだちとなかよく	56
読み物資料 およげないりすさん	58
重点 ささえ合い 助け合い 「合い」の力で 心と心をつなげよう	117
2-4 そんなけいと感謝の気持ちをもって	118
3-1 命あるものを大切に	120
読み物資料 ヒキガエルとロバ	122
重点 たった一つの命 つながる命	123
3-2 自然や動植物を大切に	124
3-3 美しいものを感じて	126
読み物資料 富士と北斎	128
4-1 社会のきまりを守って	130
読み物資料 雨のバス停留所	132
重点 みんなが守らなくてはならないきまりがある	133
4-2 働くことの大切さを知って	134
4-3 家族みんなで協力し合って	136
読み物資料 ブラッドレーのせい求書	138
重点 共に助け合って生きる	139
4-4 協力し合って楽しい学校、学級を	140
読み物資料 みんな待っているよ	142
4-5 きょう土を愛する心をもって	144
4-6 伝とうと文化を大切に	146
特設 コンピュータやけい帯電話などをどのように使えばよいのでしょうか	148
【五・六年】	150
1-1 節度、節制を心がけて	150
1-2 希望と勇気をもつてくじけずに	152
読み物資料 ヘレンと共に ―アニー・サリバン―	154
重点 夢に向かって確かな一歩を	155
1-3 自律的で責任ある行動を	156
読み物資料 うばわれた自由	158
1-4 誠実に明るい心で	160
1-5 進んで新しいものを求めて	162
読み物資料 天からの手紙	164
1-6 短所を改め、長所をのばして	166
2-1 礼儀正しく真心をもって	168
2-2 相手の立場に立って親切に	170

2-4 お世話になっている人にかんしゃして	60
3-1 いのちを大切に	62
読み物資料 ハムスターの赤ちゃん	64
重点 生きているってすばらしい	65
3-2 生きものにやさしく	66
読み物資料 虫が大すき ―アンリ・ファートル―	68
3-3 すがすがしい心で	70
4-1 やくそくやきまりをまもって	72
読み物資料 黄色いベンチ	74
重点 きまりカルタ	75
4-2 はたらくことのよさをかんじて	76
読み物資料 森のゆうびん屋さん	78
4-3 家族のやくに立つことを	80
4-4 学校の生活を楽しく	82
4-5 ふるさとに親しみをもって	84
読み物資料 ぎおんまつり	86
【三・四年】	88
1-1 よく考えて節度ある生活を	88
読み物資料 少しだけなら	90
重点 自分を見つめ、自分を生かさう	91
1-2 やろうと決めたことは最後まで	92
読み物資料 きつとできる	94
1-3 正しいことは勇気をもって	96
読み物資料 よむむし太郎	98
1-4 正直に明るい心で	100
読み物資料 六セント半のおつり ―リンカーンの話―	102
1-5 自分の良い所をのばして	104
読み物資料 うれしく思えた日から	106
2-1 だれに対しても真心をもって	108
2-2 相手进行思いやり親切に	110
読み物資料 心と心のあく手	112
2-3 友達とたがいに理解し合って	114
読み物資料 同じ仲間だから	116

読み物資料 最後のおくり物	172
重点 分かり合うこと 支え合うこと	173
2-3 たがいに信頼し、学び合って	174
読み物資料 知らない間の出来事	176
2-4 けんきよに、広い心をもって	178
読み物資料 プランコ乗りとピエロ	180
2-5 支え合いや助け合いに感謝して	182
読み物資料 黄熱病とのたたかい	184
3-1 自他の生命を尊重して	186
読み物資料 その思いを受けついで	188
重点 かけがえない命	189
3-2 自然の偉大さを知って	190
3-3 大いなるものを感じて	192
4-1 法やきまりを守って	194
読み物資料 きまりは何のために	196
重点 社会で生きる一人として 守らなくてはならないこと	197
4-2 公正、公平な態度で	198
読み物資料 愛の日記	200
4-3 自分の役割を自覚して	202
読み物資料 小川笠船	204
重点 集団における役割と責任	205
4-4 公共のために役立つことを	206
4-5 家族の幸せを求めて	208
4-6 より良い校風を求めて	210
4-7 郷土や国を愛する心を	212
読み物資料 人間をつくる道 ―剣道―	214
重点 国家・社会の一員として	215
4-8 世界の人々とつながって	216
読み物資料 ベル―は泣いている	218
特設 情報社会に生きる私たち	220
「道徳の内容」の学年段階・学校段階の一覧表	222

「私たちの道徳」の概要

小学校一・二年

小学校三・四年

小学校五・六年

中学校

各冊子の特徴	読み物資料数	ページ数	表紙
●家庭と連携して、児童の豊かな心を育ていくことができるように、家の人からの書き込み欄を豊富に設けている。	12編	160ページ	
●身近な人々と温かい人間関係を築いていくことができるように、家族や友達など身近な人との関わりに関する内容を豊富に盛り込んでいる。	12編	176ページ	
●話合いを通して、自分の考えを深め、自らの成長に気付いていくことができるように、話合いの題材を豊富に盛り込んでいる。	13編	192ページ	
●人物の生き方を通して、自己の生き方を考えていくことができるように、先人、偉人や著名人のメッセージや格言などを豊富に盛り込んでいる。	9編	240ページ	

第一章 「私たちの道徳」の活用にあたって

- 1 「私たちの道徳」について……………6
- 2 「私たちの道徳」の活用……………9
- 3 「私たちの道徳」の活用を促す「道徳教育の全体計画」……………20
- 4 「私たちの道徳」の活用を促す「道徳の時間の年間指導計画」……………26



1 「私たちの道徳」について

1 「私たちの道徳」作成の背景

教育再生実行会議は、平成二十五年二月の第一次提言において、いじめの問題が深刻な事態にある今こそ、心と体の調和の取れた人間の育成の観点から、道徳教育の重要性を改めて認識すべきであるとし、その抜本的な充実を図るとともに、新たな枠組みによって教科化することを提言した。あわせて、国及び教育委員会の役割として、心の豊かな成長を育み、よき行動を引き出す道徳教育が実践されるよう、教員の指導力向上に取り組むこと、さらに、学校における道徳教育の教材として、具体的な人物や地域、我が国の伝統と文化に根ざす題材や、人間尊重の精神を培う題材などを重視することなども提言した。

こうした提言を踏まえて、平成二十五年三月に文部科学省に設置された「道徳教育の充実に関する懇談会」では、これまでの道徳教育の成果や課題を検証しつつ、「心のノート」の全面改訂や新たな枠組みによる教科化の在り方などについて、幅広く検討を行った。

このうち、「心のノート」の改訂については、道徳の時間をはじめとする授業でより活用しやすいものへと改善する観点から、本懇談会の下に設置した「心のノート改訂作業部会」において、全面改訂の作業を行い、名称を「私たちの道徳」（小学校一・二年用及び三・四年用は「わたしたちの道徳」。以下「私たちの道徳」と表記する。）と改めた。「私たちの道徳」については、平成

二十六年度から使用できるよう、全国の小・中学生への配布を行った。

2 「私たちの道徳」の趣旨と特徴

(1) 趣旨

「私たちの道徳」は、「心のノート」を全面改訂したものであり、児童生徒が道徳的価値について自ら考え、行動できるようになることをねらいとして作成した道徳教育用教材である。

(2) 特徴

○道徳の時間はもちろん、学校の教育活動全体を通じて、また、家庭や地域においても活用することが期待される。

○学習指導要領に示す道徳の内容項目ごとに「読み物部分」と「書き込み部分」とで構成している。

○児童生徒の発達の段階を踏まえ、先人等の名言、偉人や著名人の生き方に関する内容を多く取り上げるとともに、いじめの問題への対応や我が国の伝統と文化、情報モラルに関する内容などの充実を図っている。

3 「私たちの道徳」の構成

「私たちの道徳」は、学習指導要領に示す道徳の内容項目ごとに「読み物部分」と「書き込み部分」とで構成している。

(1) 読み物部分

① 読み物資料ページ

読み物資料は、重点化に係る内容項目を中心に、二年用及び三・四年用で各十二編、五・六年用で十三編を掲載した。これまで学校で広く活用されている読み物資料が中心となっている。

② 内容項目に関わる読み物等のページ

内容項目に関わるメッセージやコラム、写真やイラストなどを掲載している。写真やイラストについては、児童生徒の発達の段階も考慮しつつ、より適切なものとなるよう配慮した。

③ 重点化ページ

指導内容の重点化については、小学校学習指導要領の道徳の「第3 指導計画の作成と内容の取扱い」に次のような記載がある。

各学校においては、各学年を通じて自立心や自律性、自他の生命を尊重する心を育てることに配慮するとともに、児童の発達の段階や特性等を踏まえ、指導内容の重点化を図ること。特に低学年ではあいさつなどの基本的な生活習慣、社会生活上のきまりを身に付け、善悪を判断し、人間としてしてはならないことをしないこと、中学年では集団や社会のきまりを守り、身近な人々と協力し助け合う態度を身に付けること、高学年では法やきまりの意義を理解すること、相手の立場を理解し、支え合う態度を身に付けること、集団における役割と責任を果たすこと、国家・社会の一員としての自覚をもつことなどに配慮し、児童や学校の実態に応じた指導を行うよう工夫すること。また、高学年においては、悩みや葛藤等

の心の揺れ、人間関係の理解等の課題を積極的に取り上げ、自己の生き方についての考えを一層深められるよう指導を工夫すること。

この記載に基づいて、全冊子において「自立心や自律性」「自他の生命を尊重する心」の内容と関連させた重点化に関わるページを設けている。また、一・二年用では、「挨拶などの基本的な生活習慣」「善悪を判断し、人間としてしてはならないことをしないこと」「社会生活上のきまりを身に付けること」、三・四年用では、「身近な人々と協力し助け合う態度を身に付けること」「集団や社会のきまりを守ること」、五・六年用では、「相手の立場を理解し、支え合う態度を身に付けること」「法やきまりの意義を理解すること」「集団における役割と責任を果たすこと」「国家・社会の一員としての自覚をもつこと」のそれぞれの内容と関連した重点化に関わるページを設けている。

④ 特設ページ

三・四年用及び五・六年用の冊子については、情報モラルに関する特設ページを設けた。情報モラルについては、関連する内容項目を通して扱うこととされているが、情報化が進み顕在化してきた問題の重大性からも、別に項目を立てて示した。道徳の時間だけでなく、各教科等においても積極的に活用することが期待される。

⑤重視した内容例
●人物のコラム等
読み物部分には、偉人や著名人などの生き方に関する内容が多くあり、人物の生き方を通して生きることの魅力や意味の深さについて考えを深めることができる。

●いじめの問題への対応
いじめの問題に正面から向き合う内容や、善悪の判断、信頼・友情、規範意識、公正・公平などの内容、また、自他の生命の尊重に関する内容を充実している。

●我が国の伝統と文化
日本人としての自覚をもって、我が国の伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する意欲や態度の育成に資する内容を充実している。

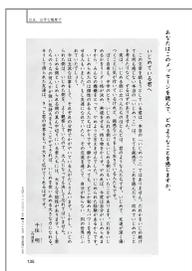
●情報モラル
コンピュータや携帯電話等の急速な普及等による社会の情報化の進展に対応し、情報モラルに関する内容を充実している。



小学校3・4年



小学校1・2年



小学校5・6年



小学校5・6年

2 「私たちの道徳」の活用

1 活用の留意事項

「私たちの道徳」は、学校での活用の他、家庭や地域での活用や、児童生徒が自主的に活用することもできる。各学校においては、家庭や地域での活用、児童生徒の自主的な活用が促されるよう、家庭や地域との連携を図るなどの適切な配慮が求められる。

また、「私たちの道徳」は、児童生徒が複数学年にわたって使用するものであり、考えたことや書き込んだことを振り返って、自らの成長を実感しながら道徳性を育てていくことができる。各学校においては、道徳教育の全体計画や道徳の時間の年間指導計画に「私たちの道徳」を位置付けるなどして、活用方針や活用方法等についての共通理解を図り、児童生徒の発達の段階を踏まえて計画的に活用することが望まれる。

なお、道徳の時間においては、児童生徒が多様な角度から考えたり話し合ったりしながら、「私たちの道徳」の効果的な活用を深めていくよう、「私たちの道徳」の効果的な活用の仕方も含めて指導方法を工夫していくことが求められる。その際、教師が一方的に教え込むのではなく、児童生徒の多様な発想や考えを大切にし、それを受け止めたり認めたりするなどして、話し合いに生かしていくことが重要である。児童生徒一人一人の道徳性に係る成長を促すことができるよう、発言をどのように受け止めて話し合いに生かすのかなども含め、指導の在り方を工夫し

(2) 書き込み部分

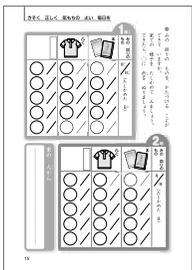
書き込み部分については、家庭や地域の人から話を聞いて記入する欄を充実するなどの改善を図った。また、冊子内での段階的な指導がより容易となるように配慮し、複数学年にわたって使用する特性を踏まえて二学年分の書き込み欄を設けた所もある。さらに、各冊子に、自分に関することを書き込むページや、道徳の時間に学習したこと、家の人からの言葉を書き込むページも設けている。

●書き込み欄

自分の成長を振り返ることができるように、学年別に書き込む欄がある。

発達の段階や内容に応じて絵を描いたり、色を塗ったりする欄もある。

小学校一・二年用には、「家の人から」の欄を多く設けている。



小学校1・2年



小学校5・6年

ていくことも求められる。

2 活用の例

(1) 道徳の時間での活用

読み物資料やコラム、先人の格言などを活用して道徳的価値についての考えを深めたり、書き込み欄を活用して自分自身のことを振り返ったりすることができる。

活用例

●友情 2-1(3) 一・二年(七十四から八十一ページ)

	学習活動	留意事項
導入	○友達と遊んだり、勉強したりしたことを想起する。(P.74)	・ 主題に関わる問題意識をもたせたり、学習への雰囲気づくりをしたりする。
展開	○「おかげないりさん」を読んで話し合う。(P.78~81) ○友達と仲よくして楽しかったことやうれしかったことを振り返って書く。(P.76または77)	・ 自分との関わりで道徳的価値についての考えを深める。 ・ 書き込み欄を活用して、現在の自分自身を振り返る。
終末	○「友じょうはよろこびを二倍にし、かなしみを半分にする」の言葉について考える。(P.75)	・ 道徳的価値に対する思いや考えをまとめる。

(2) 各教科等での活用

各教科等における道徳教育は、学校の道徳教育の目標や指導の重点に基づいて、意図的、計画的に行うことが大切である。

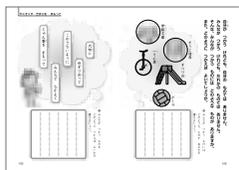
各教科等の指導を通じて児童生徒の道徳性を養うための視点としては、次のような点が挙げられる。

- ① 道徳教育の目標や内容と各教科等の目標、内容及び教材との関わりを通じた道徳性の育成
 - ② 学習活動や学習態度への配慮による道徳性の育成
 - ③ 教師の態度や行動からの感化を通じた道徳性の育成
- また、各教科等においては、その目標や内容に応じて「私たちの道徳」の関連するページを活用し、児童生徒の道徳性を育成することができる。

活用例

■生活科 一・二年（二二二・二三三ページ）

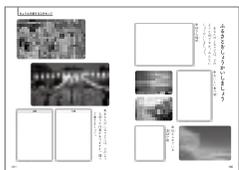
公共物や公共施設を大切にし、安全に気を付けて正しく利用することに関わる学習で、一一二・一二三ページを活用することができる。



小学校1・2年

■社会科 三・四年（二六〇・二六一ページ）

地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事などについて、調べてまとめる学習で、一六〇・一六一ページを活用することができる。



小学校3・4年

■総合的な学習の時間

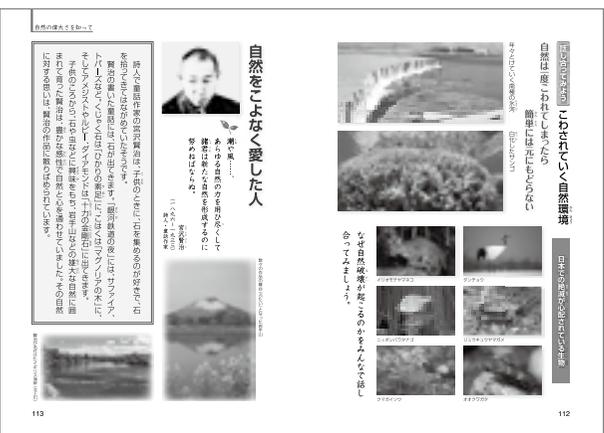
総合的な学習の時間では、学習の動機付けや自らの生き方を考える際に「私たちの道徳」を活用することができる。

例えば、「私たちの道徳」の内容から課題を見付け、探究活動に取り組んでいくこともできる。また、横断的・総合的な学習や探究的な学習を通して、自らの生き方を考える際に、「私たちの道徳」を活用することもできる。

●環境を視点とした課題に関わる学習

五・六年（一一二・一二三ページ）

環境を課題とした探究的な学習を行う際に、一一二・一二三ページを活用して、三ページを活用して、環境に関わる視野を広げ、自分たちの身の回りの環境問題を考える。



小学校5・6年

■外国語活動

外国語活動では、外国語を通じての他者とのコミュニケーションの在り方や世界の人々との関わりなどについて考える際に、「私たちの道徳」(五・六年)の「2」(2)相手の立場に立って親切に」や「4」(8)世界の人々とつながって」などのページを活用することができる。

●世界の国々の生活に関わる学習

五・六年（二七六・二七七ページ）

外国語を用いてコミュニケーションを図る活動を行うとともに、世界では様々な人々が様々な生活をしていることに気付いたり、自分が紹介したい国の生活などについて調べたことを発表したりする学習の導入で、一七六・一七七ページを活用して、世界の人々とのつながりを確認する。



小学校5・6年

■特別活動

特別活動には、学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事の内容がある。特別活動の指導に当たっては、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深める際に、「私たちの道徳」を活用することができる。

●学級活動 一・二年（二四六・二四七ページ）

三・四年（二五〇・二五一ページ）

学級や学校における生活上の諸問題については、一般的に「学級会」と称される会議で話し合われる。この学級会の意義や、係活動、集会活動の意義などについて考える際に、一・二年用の一四六・一四七ページ、三・四年用の一五〇・一五一ページを活用することができる。また、日常の生活や学習への適応及び健康安全に関する指導に当たっては、関連する内容のページを活用することができる。

●児童会活動 五・六年（二六二ページ）

高学年として、リーダーシップを発揮して充実した児童会活動を実践できるようにするために、一六二ページの児童作文を活用して、よりよい校風をつくることについて考えることができる。

●学校行事

それぞれの学校行事の意義について考える際に、関連する内容のページを活用することができる。